

七 絶景謳歌

原曲…神々が恋した幻想郷  
桜花之恋塚 〱 Flower of Japan

稀人招いた感情  
此処にあるのは色とりどりの層  
無惨でも尚  
歪んでも尚  
影落とすに足ると

誘<sup>いざな</sup>われては 迷い込んで  
行方不明か無縁の塚か  
どっちにしてもコースアウトだ  
知らない筈は無いよな

定めて

無駄話を好む  
風上から出迎える鳥の羽は何を彩る  
咲き誇る正体は長い夢 集う種

取り止めない内  
闇を澄ます黒

祝おう今日を  
鐘が鳴る  
右往左往も悔い無き道へ  
もういいかい

世界中 恋焦がれた想像を消さないように探している

旅人拒んだ感傷  
横に逸れるは華々しくもそう  
霞んでいく  
崩れ去っていく  
誰にも気付かれぬまま

いつからいたか 何処から来たか  
問いただしても答えないだろうか  
彼岸でも空の上でも一面微笑んでいる

優しく

憂さ晴らしを望む  
風下には野に太陽が落ちたような輝く大輪を  
従える存在も等しく手を引く

取り返すように  
重なるは緑

歌おう今日も  
壁穿つ  
嘘も真も預けて未知へ  
もういいよ  
狭い宙 独りきりになんてなれないから

語り継がれて形紡がれる  
始まりの景色は埋もれても続いていく

無駄話も果てる

風吹くまま遙か彼方舞い上がれ

流転する命

光あれ 境界を越える者 喝采を

取り落とす頃に

駆け抜ける期待

祝おう今日を

鐘が鳴る

いくか かえるか悔い無き道へ

もういいかい

世界中 恋焦がれた想像を繋いでよ

歌おう今日も

壁穿つ

酸いも甘いも酒の肴よ

もういいよ

狭い宙 独りきりになんてなれないから

強く声を